立志論Ⅳ　アンケート⑧151113　<質問・意見・感想など（タイプ別）>　1

＜タイプ1＞
・女性の偉人たちは、女性特有の力強さを感じた。「君死にたまふことなかれ」は与謝野晶子の気持ちのこもった著作だと思った。
・今回の講義を受けて、私が一番驚いたことが、先生の「ベルリンの壁」を実際に体験した話だ。戦争をするから早く帰ってこいと言われて逃れたという話が緊迫感があった。今回は「信頼」「信用」という言葉が多く出てきていて印象深かった。
・ある程度、モデルにする人が決まってきた。
・共通することは何か自分の信念を持って継続して仕事などに取り組んでいると感じた。人生についてもっと考えていきたいと思う。
・草間彌生の「時よ、待ってくれ。私はまだ仕事がしたい」という言葉に驚いた。
・作曲家の人生の中で、作れる曲の数が決まっているのではないかと感じられた。人生は死んだ後も続いているのかもしれないと今回の名言で思うことができた。
・今回の講義でわつぃが目標とする人物がイメージできた。

＜タイプ2＞
・ダンディの要件は心から賛成する。
・印象に残ったのは「樋口一葉」です。あまりにも短い人生だったけれど、今でも歴史などで学ばれ、知られている彼女についてもっと詳しく調べてみたいと思った。
・女性の偉人もたくさんいると思った。
・仕事の量は裏切らないのだと思った。男性でも女性でも関係ないと思う。
・偉人になった人は努力の量、仕事の量がとても多いと思った。

＜タイプ3＞
・女性の偉人達は、男性とは違って物凄いエネルギーがある印象を持った。絵本にもすごく深いものがあるということを知った。
・誰をテーマにするか決めないといけないと思った。

＜タイプ4＞
・映画館でアルバイトをしているが、高野悦子という一人の映画館の支配人が、ここまで有名な人となることがあるのだなと驚いた。「積み重ね」というものが気になるので、もう少し調べてみようと思う。
・どの時代も、つながるものがあるのだと感じた。
・今の政治ももっと女性が活躍してほしいと思う。
・目が細い方が表情が出ないので良いと分かった。女の人は大きい目で、男の人は細い目。石井桃子の猫がとても良かった。
・昔の人が今でも凄いと言われ、記念館があったりすることは、すごいことだと思った。

＜タイプ5＞
・樋口一葉と与謝野晶子などはすごく大変な思いをしながら仕事をしていた事にすごいと思った。
・偉人はなぜ言葉を持っているのですか？一葉日記の「何もしないで一生を終えてよいのか？何をすべきか考え、ひたすら進むだけです。」
・白洲正子より白洲次郎の「ダンディの条件」の方が気になる。高野悦子「わつぃは映画の生みの親ではないが、育ての親になることができる。劇場が名画を育てる創造の場であることの発見は、私を大いに勇気づけた」とあるが、とてもいい言葉だと思った。
・樋口一葉などの、その人物の本を読んでみたい。

＜タイプ7＞
・死んだら死んだで生きて行く。（草野心平）「信用」大事。あるかないかで人生が決まる。物事を考える人は大勢いるが、行動起こすのはたった一人。（ド・ゴール）これらの言葉が印象に残った。
・草野心平：死んだら死んだで生きて行くさ。渋沢栄一：限りない資本と活用する資格とは何であるか。それは信用である。久恒先生：就職したら3年間死にもの狂いでやれ。
・ルターの「死は、人生の終末でなく、生涯の感性である」樋口一葉のビデオを観た時に、歴史の人物のゆかりの地を巡るのもいいのかなって思うことができた。
・私は話を聞いている中で、信用の蓄積で成り立っているような話を聞いてまさにそうだと思った。
・与謝野晶子のものすごいエネルギーと向上心はどこからきたのでしょうか？現代に似た人はいるのでしょうか？樋口一葉は自分と年はそんなに変わらないのにとても立派な人間だということが伝わった。

＜タイプ6＞
・白洲正子の「今は命を大切にすることより、酒でも恋愛でもよい、命がけで何かを実行してみることだ。その時初めて命の尊さと、この世のはかなさを実感するだろう。」という言葉が深く感じた。
・向田邦子はドラマの脚本1000本以上。ラジオは10000本を超えるものすごい膨大な仕事量で、女の人は多くしないと評価がされないのではないかと感じた。
・多くの数をこなすことが大切だと知った。
・尊敬できるが、真似をしたいとは思えなかった。細々と長く同じ仕事につければいいなと思っている。
・与謝野晶子さんの歌を聴いて懐かしく感じた。なんだか年をとったなとしみじみと思えてしまった。
・与謝野晶子に驚いた。母親として子供たちにあまり接することができなかったのは、少し無責任だと感じた。
・樋口一葉に興味を持った。「一葉日記」を読んでみたい。
・女性の仕事の集中力は凄まじいと感じた。
・白洲正子の信心で、何事にも信じ続けることが重要であると感じた。
・何かを成した偉人の言葉は重い。
・今回の映像を観て、自分も頑張らないといけないと強く思った。
・草野心平、死んだら死んだで生きて行く。 マルティン・ルター：死は人生の終末ではない。、、死ぬことに関してポジティブだと感じた。文京区など都内に歴史にまつわる場所があることに驚いた。

・与謝野晶子といえば教科書でも見るくらい有名なのに母親としては冷たいというのがビックリした。名言の暦の言葉は、ふとした時に思い出して参考にしている。私の知っている音楽アーティストの中で、非常に音楽に対してストイックな人がいるので、その人をモデルにしようかと思うが、その人以外にも尊敬する人がたくさんいて決めづらい。
・女性作家の作品は、リアルな自分を描いているからこそ、広い年代に親しまれやすいのだと思った。
・ド・ゴールの「物事を考える人は大勢いるが、行動をおこすのはたった一人だ」という言葉が心に残った。樋口一葉の短い人生ながらも、立派な考えを持ち実行していく姿が、上記の名言を体現していると感じた。
・就きたい職業が、サービス業なので、信用や信頼が必要であると思うし、それを築くのには長時間かかると思う。どんな人にも信頼を築けるようになりたい。
・石井桃子さんの話が印象に残った。

立志論Ⅳ　アンケート⑧151113　<質問・意見・感想など（タイプ別）>　2

＜タイプ８＞
・人生のいい勉強になった。
・女性作家には興味無かった。
・他の様々な人の生きがいや考え方、ゆかりの地などに、興味が湧いてきた。
・与謝野晶子さんの仕事への熱意は尊敬としかいいようがないと思う。
・与謝野晶子さんに注目した。子育てしながら偉大な仕事を成し遂げていった。男性で、出産や子育てから解放されていたら、もっとすごい業績を残したに違いないと思った。
・こんなにも女性で社会に進出していた人たちがいたのだと驚いた。
・今日の授業は「白洲正子」一色だった。町田生まれで町田育ちなので、鶴川に有名な人がいたことに驚きだった。この人のレポートを書こうかと参考になった。
・GHQ、マッカーサーにかみついたり、天皇批判を歌った人の妻だった白洲正子は、懐が深い人だと思った。
・ロダンの言葉は為になる言葉だと思った。偉人の言葉に共感や感動を覚えるのは、その偉人の人生に共感や感動、その人のような人生を歩みたいと思っている証なのではないかと私は思う。テーマが決まってないのが難点です。
・与謝野晶子のことばを聞いて、言葉は少し違っていても、恋愛に関しては同じなんだと思った。

＜タイプ９＞
・今回出てきた人たちは、どの人もものすごい仕事量をこなした人たちで、私ももっとがんばりたいと見習いたい。
・与謝野晶子のみだれ髪を聞いて、女性の力強さを感じた。「母として女人の身をば裂ける血に清まらぬ世はあらじとぞ思ふ」という詩から出産を表現した壮絶さ、神秘さなどが感じ取れた。テーマとする人は、昔から尊敬している三浦和良選手です。
・絵本で得られるような知識を学びたくないです。
・久しぶりの絵本は良かった。テーマは好きなロックバンドとかでもいいですか？
・ロダンの言葉が心に響いた。勉強あるのみだと思った。多摩大学の就職率が80%を超えているというのを聞いて非常に安心した。
・女性が言う名言は、女性ならではの観点で物事を見ているため、普段自分が考えもしないようなことが知れて、非常に勉強になる。
・女の人が書く詩や句はとても共感できるので、聞いていて楽しかった。
・少しずつですが、誰について調べるのか決まってきた。最後まで悩んでから決めていきたい。
・最近亡くなられた高倉健さんの名言が心に残った。名言だけでなくその本人がどんな人なのかもしっかり学ぼうと思う。
・森繁さんの「人生で大層なことは一つもない。大概笑ってごまかせることだ。」という言葉がとても素敵な言葉だと思った。楽観的に考えて生きていきたいと思っている。

・仕事量の非常に多い女性をテーマにした講義で、とても興味深かった。いったいどこからそのパワーが出るのか疑問に思った。
・樋口一葉という人物がどのような人だったのか分かった気がします。
・与謝野晶子さんが、出産を１１回、計１３人を産んでいたということに驚いた。驚愕です。
・与謝野晶子の仕事の多さはとても過酷にもかかわらず、詩の深さに感動した。

・渋沢栄一さんの「限りない資本を活用する資格は信用である」という言葉と、浅野総一郎さんの「商売人はとくに約束を厳守することが必要である。時間を偽ったり、約束を破る人はすぐに信用を失ってしまう。」という2人の言葉から、社会に出たら信用がとても大切だと認識することができた。与謝野晶子さんは、つねに妊娠状態で、膨大かつ優れた仕事を成し遂げたことは、すごい事だと思うし、驚いた。
・女性への差別が根強かった当時の日本、その中であらゆる面で活躍をしたということは特筆に値することだと思う。改めて女性の活躍は重要だと実感した。

＜タイプ？＞
・興味を持ったのは、樋口一葉でした。
・与謝野晶子は多くの子どもを持ちながら、仕事と育児を行い、仕事でも成果を出すことができたのは凄い。
・あの「くまのプーさん」を訳したのが石井桃子さんだとは知りませんでした。太宰治のことが好きだったみたいですが、有名な人同士でつながっているのだとよく分かった。
・女性の社会進出に注力する企業が多い中、元々はこのような人たちがいたのだと勉強になった。
・本当は女性の方が強いのではないだろうか。11人も子供を産むなんて今では考えられない気がする。さらに仕事をしながら育児・家事など与謝野晶子は尊敬する。
・生き方は一つだけではなく人によって様々な生き方がある。
・女性から見た世界の価値観が分かって良かった。
・樋口一葉の文京伝がとても面白く、行ってみたいと思った。
・与謝野晶子さんは、底知れぬ精神やパワーというまるで疲れというものを知らないかのような、そういう天才だったのではないだろうか。
・先生の紹介する名言は人生を考えさせられる。信頼されるように日々の生活を送りたい。与謝野晶子の反戦の詩は痛烈な心の叫びのようなものを感じた。大人の技術で子供向けのものを創るのは大変なことなのに、石井桃子はすごいと思った。
・子供を育てながらとんでもない量の仕事をしていて驚いた。私が何かと仕事を2つやると、パンクすると思ってしまう。
・むしろ男性より活き活きし格好良いと思った。
・樋口一葉が24歳という若さで亡くなったと知り驚いた。与謝野晶子という人は歌人で凄い人だと思った。
・充実した授業だった。
・石井桃子さんの絵本「ねこ」のお話がとても印象に残った。
・昔の日本の女性はたくましいと思う。
・毎回面白く、納得のいく名言をありがとうございます。今回は女性バージョンで良かったです。次はスポーツ選手の名言など良いかもしれません。